

## 日本光学会第1回常任幹事会

日 時： 2002年7月12日(金) 13:30~18:45

場 所： 日本光学会資料室

出席者： 山本幹事長，以下13名

議 事：

### 1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問はなく，議事録は承認された。

### 2. 報告事項

#### 2-1. 編集委員会関連報告

##### (1) 「光学」編集報告

- ・「光学」の編集作業は順調に進捗している。
- ・第31巻第5号が10日遅れて発行されたが，第6号から通常発行となる予定である。
- ・事務作業効率化のため「光学」編集委員会単独で月ごとの会計報告を行うこととした。
- ・委員の所属先によっては，委員会資料が外部公開の対象となることがあるので，公開，非公開を明確にする必要があるとの報告がなされた。

##### (2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・投稿，掲載論文数状況等に関する書類報告がなされた。

#### 2-2. 講演会関連報告

##### (1) 光学シンポジウム結果報告

- ・314名の参加があり，盛況であった。
- ・アンケート結果より，プログラムの組み方に検討課題が残った。

##### (2) サマーセミナー進捗報告

- ・講演依頼，テキスト作成とも順調に進捗している。

##### (3) 3次元画像コンファレンス結果報告

- ・214名の参加があり，盛況であった。

##### (4) Optics Japan 2002 進捗報告

- ・新規開拓を増やす方向で，発表分類の見直しを行った。
- ・展示会を新たに計画し，企業にブースを提供することとした。
- ・シンポジウムによっては，他学会の研究グループとの共催としたいとの要請があった。両学会の実績となる共催とし，聴講料等は従来通り光学会が管理することで承認された。
- ・プログラム編成上奨励賞記念講演を1つのセクションにしない方向で検討中である。
- ・OJの質を上げるため，次年度以降，講演賞の設置等を将来計画委員会で検討していきたいとの意見がださ

れた。

- ・光学会としてタイマーを10台程度購入することとした。

##### (5) 平成14年関西講演会進捗報告

- ・日時，会場，テーマ(案)等が決定した。

##### (6) 第36回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・日時，会場，テーマ(案)等が決定した。

##### (7) 北陸信越講演会進捗報告

- ・講演プログラム等が決定した。

##### (8) 冬期講習会進捗報告

- ・第1回実行委員会を開催し，テーマを回折光学素子とし詳細を検討中である。
- ・実行委員は7名とした。

#### 2-3. その他報告事項

##### (1) 協賛依頼について

- ・7件の協賛依頼があり，すべて承認した。
- ・協賛依頼への対応についても，運用規定を作成する要求が出された。

##### (2) 会員動静

- ・微増した。

##### (3) 光学奨励賞審査結果報告

- ・小倉裕介氏(阪大)，横井直倫氏(室蘭工大)が選出された。
- ・選考委員のメンバーの所属を大学と企業とバランスをとるべきであるという指摘があった。

##### (4) 光学資料室使用状況

- ・使用状況は少ない。

##### (5) 広報より

- ・「OR」に光学会の紹介記事を掲載した。
- ・IPAP発行誌に掲載する「OR」の紹介記事を作成した。
- ・入会のしおりは2000部作製し，月末には納入される予定である。
- ・50周年記念CD-ROMは，新会員に無料配布，また学会等で500円(+送料)で販売することとした。新会員に無料配布する内容を付け加えた入会案内を「光学」に投げ込んで配布，HPに掲載することとなった。

### 3. 審議事項

#### (1) 予算案審議

- ・来年度の予算に盛り込むべき出費があれば，会計まで連絡すること。
- ・事務局の設置計画があるため，金額等についてはさらに検討することとなった。

- (2) 光学論文賞審査委員について
- ・山本幹事長による審査員案が承認された。
- (3) 光学論文賞副賞について
- ・従来の副賞が製造中止となり、同様の商品の調達が困難となった。副賞の経緯を確認したうえで、副賞の内容については再度検討することとなった。
- (4) 光学資料室移転について
- ・応用物理学会事務局ビルの6階のテナントに空きが出る。応用物理学会と光学会で分割して使用する案が出されている。
  - ・早急な対応が望まれるため、この件に関しては、山本幹事長、中島副幹事長に一任することとした。
- (5) 関西五学会ホームページについて
- ・光学五学会関西支部のホームページを日本光学会のホームページ内に間借りしたいとの要求があり、ホームページ担当者と検討することとなった。
- (6) 国立博物館イベントについて
- ・サマーセミナーの企画をみて、国立科学博物館から展示要請があった。光学会としては、アドバイス程度にとどめ、サマーセミナーの内容に関しては博物館側にも公開することとした。
- (7) 応用物理学会役員、代議員候補者推薦について
- ・応用物理学会から役員、代議員を推薦してほしいとの要望があった。人選については山本幹事長に一任することが承認された。
- (8) 応用物理学会スクールB(2003年春季)公募について
- ・2003年は公募を見送ることとした。
- (9) 次期幹事選出方針について
- ・継続性の必要な役職もあるため、立候補可能な役職を明確にし、再検討する必要がある。
  - ・過去の実績にとらわれず全賛助会員に幹事推薦を依頼する等の案が出され、将来的には幹事の所属(企業、大学等)のバランスをとる方向で検討することとした。
  - ・幹事選出方法については、山本幹事長を中心に早急に再度検討することとなった。
- (10) その他
- ・幹事長の諮問機関として、産学が協力した、光学の活性化を検討する委員会を発足させることが承認された。
  - ・将来計画委員会のメンバーについては、9月の幹事会で承認することとし、予算、人事等を決定するガイドラインを9月の幹事会に提出することとなった。

#### 第167回常任幹事会

2002年9月13日(金)に機械振興会館地下3階, B3-1

号室において開催されました。「光学」, 「OR」の編集委員会報告, 光学シンポジウム, サマーセミナー, カラーフォーラム JAPAN 2002, ODF 2002, Optics Japan 2002, 平成14年度関西講演会, 平成14年度名古屋講演会, 第36回光学五学会関西支部連合講演会, 冬期講習会等の講演会関連の報告および審議, 協賛依頼, 会員動静, 「OR」の出版委員会, 国立科学博物館展示, 日本光学会のICO加盟, 応用物理学会の代議員推薦, 環境整備委員会の設置, 産学協力推進委員会の設置, 来年度予算案, IPAPとの覚書とOR出版, 光学資料室移転, Photonics Asiaへの協賛, 将来計画委員会の委員, OJの今後のあり方, 幹事長任期, 次期幹事案(幹事会推薦候補)等について報告, 審議がなされました。なお, 詳しい幹事会議事録は第32巻第1号に掲載予定です。

#### 臨時常任幹事会

2002年10月11日(金)に応用物理学会 新会議室において開催されました。平成14年度名古屋講演会の報告, OJのあり方検討WGの設置, 次期幹事案(幹事会推薦候補), 幹事選挙投票用紙について報告, 審議がなされました。なお, 詳しい幹事会議事録は第32巻第1号に掲載予定です。

#### 第205回「光学」編集委員会

2002年9月12日(木)に, (財)日本学会事務センター, 学会共同編集室において開催されました。第32巻第5~6号企画, 第32巻第7~10号構想案について審議が行われました。また, 飛び込み解説記事, 投稿規程, 執筆要項の改定等について審議がなされました。そのほか, 31巻8号の発行遅延, 編集委員の専門分野, 各号進捗状況, 論文投稿・審査状況, 会計, 幹事会等について報告がなされました。

#### 臨時「光学」編集委員会

2002年9月25日(水)に, 新潟大学五十嵐キャンパス 教養校舎2F-250会場において開催されました。「教育」のジャンル, 「光学」のあり方等について議論がなされました。

#### 第29回冬期講習会

テーマ: 回折光学素子の設計・作製技術

日時: 2003年1月9日(木)~10日(金)

場所: 東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室  
(東京都文京区本郷7-3-1)

主催：日本光学会  
協賛：計測自動制御学会，精密工学会，電子情報通信学会，日本オプトメカトロニクス協会，日本物理学会，レーザー学会，光産業技術振興協会  
プログラム，参加費等の詳細については本誌の綴じ込み案内，または日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>) の講習会案内をご覧ください。

### 日本分光学会顕微分光部会シンポジウム

テーマ：非線形顕微分光法の生物学への応用

「光学顕微鏡のルネサンス」が叫ばれて約10年。顕微分光学では，さらなる技術革新が始まっています。近接場光学，二光子励起，CARS，第二次高調波顕微鏡などの新技術が，これからのナノ・バイオテクノロジーにどのように生かされていくのか。最先端の研究者にお話をうかがいます。生物学とテクノロジーの接点を求める方々に，是非ともご参加くださいますよう，ご案内いたします。

日時：2002年12月18日(水)

場所：東京大学山上会館，大会議室(東京都文京区本郷)

主催：日本分光学会

協賛：応用物理学会，日本生物物理学会，レーザー学会，日本細胞生物学会

プログラム：

- 10:00 全反射型近接場蛍光顕微鏡による細胞内1分子可視化解析  
佐甲靖志(阪大)
- 10:45 ピコ秒・フェムト秒領域の凝縮相分子ダイナミクス  
田原太平(理研)
- 11:30 レーザートラップ・ラマン分光によるナノサイズ生体試料の分析  
味戸克裕(NTT)
- 13:30 コヒーレントアンチストークスラマン散乱を用いた顕微鏡の進展  
橋本 守(阪大)
- 14:15 新しい生体適合性材料の設計とバイオインターフェイスの構築  
田中 賢(北大)
- 15:15 近接場振動分光法による分子ナノアナリシス・ナノイメージング  
井上康志(阪大)
- 16:00 近接場露光法による生体試料の動的高分解能観察  
川田善正(静岡大)

参加費：会員(協賛学会含む)3,500円，非会員5,000

円，学生 無料

定員：100名

申込締切：2002年12月13日(金)

申込方法：申込用紙，またははがきに，(1)氏名，(2)所属学会，(3)年齢，(4)勤務先名，電話および住所を記入のうえ，お申し込みください。参加費は現金書留または振込みで，みずほ銀行神田支店，普通預金口座1057038日本分光学会あてにお願いします。

申込先および問合せ先：〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-13 イングストリアル・ホール202号室  
日本分光学会，電話03-3253-2747 FAX03-3253-2740

### 第30回光波センシング技術研究会

テーマ：超短光パルスが拓く新たな光技術

日時：2002年12月19,20日

場所：工学院大学(東京都新宿区西新宿1-24-2)

主催：応用物理学会・光波センシング技術研究会

きわめて短時間幅の光パルスの利用は，フェムト秒チタンサファイアレーザーが市販されるようになり，身近なものになりつつあります。超短光パルスを利用した超高速の時間領域の計測や，超短パルスレーザーの縦モード周波数の超安定性に基づく干渉法による距離測定など，センシング技術への応用が広がってきております。また，フェムト秒パルスは，数百THzの超広帯域の利得を有し，広い波長域を用いる断層光イメージング(OCT)や超高速波長多重光通信への応用が期待されます。加工，光造形の分野では，材料熱拡散速度に比べ超高速にエネルギーを注入でき，加工精度が向上し，多光子吸収によりバンドギャップの大きな材料に適用できるようになってきております。

招待講演(順不同)：

フェムト秒光コムを用いた距離計

美濃島薫(産総研)

フェムト秒パルスレーザを用いた表面第2高調波発生とホモダイン計測法

陳 軍(東京工芸大)

超高速変調パルス列の発生と超高速通信

山林由明(NTTエレクトロニクス)

分散変化型光ファイバによるスーパーコンティニウムスペクトルパルスの発生

今井正明(室蘭工大)

フェムト秒パルスレーザによるガラスのマイクロファブリケーション

伊東一良(阪大)

時空間変換を用いた空間領域での超高速光情報処理

小西 毅 (阪大)  
フェムト秒レーザーによる3次元マイクロ加工  
杉岡幸次 (理研)  
これに加えて、光センシングの基礎、材料、デバイス、  
光計測領域の一般応募論文の発表を併せて募集いたします。  
参加費：11,000円 (論文集含む)

問合せ事務局：光波センシング技術研究会事務局  
福井峯朗  
〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-17-42 (302) 連  
企画気付 電話/Fax 03-3391-9587  
E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp  
<http://jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10 キヤノン株式会社光学技術研究所レンズ開発センター  
レンズ第1技術開発室 中井武彦 電話 028-667-5711 Fax 028-667-9486 E-mail: nakai.takehiko@canon.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成14年度幹事 (\*常任幹事)

幹事長：	山本 公明* (オリンパス)	
副幹事長：	黒川 隆志* (農工大)	中島 啓幾 (早大)
前幹事長：	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事：	塩川 孝紳* (旭光学)	川田 善正* (静岡大)
	大瀧 達朗* (ニコン)	田中 賢一* (明治大)
	竹ノ内弘和* (NTT)	塚田 由紀* (交通公害研)
	中井 武彦* (キヤノン)	平井亜紀子* (産総研)
『光学』編集幹事：	岩井 俊昭* (北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	谷田 純 (阪大)
『OR』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事：	山口 一郎 (理研)	石井 行弘 (能開大)
	大坪 順次 (静岡大)	
将来問題担当幹事：	志村 努 (東大)	岡 和彦 (北大)
企画・事業担当幹事：	黒川 隆志 (農工大)	梅田 倫弘 (農工大)
	野崎 昭俊 (コニカ)	仁科喜一郎 (リコー)
	木村 茂治 (日立)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	岩瀬扶佐子 (古河電工)	太田 淳 (奈良先端大)
	志村 啓 (日立ハイテクノロジーズ)	金子 寛彦 (東工大)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工業大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)